

みんぱく

研究公演 創設50周年記念

アリラン

峠の向こうには

在日コリアン音楽のこれから

Over the Arirang Pass: The Future of Zainichi Korean Musics

2024.
8.25 日

14:00 – 16:30 (開場 13:30)

国立民族学博物館
みんぱくインテリジェントホール (講堂)

[定員] 400名

[参加費] 要展示観覧券 (一般 580 円) ※イベント参加費は不要

[申込] 事前申込制 (先着順)

イベント申込み等の詳細については裏面とホームページをご確認ください。

※オンライン (ライブ配信) はありません。

[主催] 国立民族学博物館



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

関西から
文化力
POWER OF
CULTURE

アリラン峠の向こうには

——在日コリアン音楽のこれから Over the Arirang Pass: The Future of Zainichi Korean Musics

在日コリアンの苦難の象徴であるアリラン峠の先には、どのような「希望」がみえるのでしょうか。2014年の研究公演で共演した3組の音楽家たちが再びみんなくにつどいます。日本、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国のはぎまで彼らが紡ぎだしてきた音楽をとおして、在日コリアン音楽のこれからをみつめます。

出演

演奏 李政美、安聖民、
河榮守、金榮実、梁聖晞 ほか
解説 高正子（大阪コリアタウン歴史資料館 館長）
司会 福岡正太（国立民族学博物館 教授）

2014年の研究公演をきっかけとして制作した映像作品『アリラン峠を越えていく：在日コリアンの音楽』を、みんなくシアター（本館2階インフォメーションゾーン）でご覧いただけます。

プログラム

- 第1部 李政美 「京成線」「眠れる波まで打て！」ほか
第2部 安聖民 古典パンソリ「水宮歌」
創作パンソリ「水宮歌？」
第3部 河榮守、金榮実、梁聖晞 「パダエノレ（海の歌）」「トラジ」
「リムジンガン（臨津江）」ほか
第4部 出演者全員 合同演奏
（曲目は変更となることがあります）



李政美 イ・ジョンミ Lee Jeongmi
東京・葛飾生まれの在日二世。幼少の頃からアボジ（父親）が歌う韓国の歌謡曲を聴いて育つ。朝鮮学校の民族楽器部で伽倻琴（カヤグム）、小奚琴（ソヘグム）に出会い夢中になる。国立音楽大学声楽科に進み、イタリアオペラを専攻。自身の音楽のアイデンティティをもとめて試行錯誤しながらライブ活動続ける。
伴奏：向島ゆり子（バイオリン）、竹田裕美子（ピアノ）



河榮守 ハ・ヨンス Haa Yeongsu
チャンセナプ 杖鼓、弦琴演奏家。在日三世。平壤国立音楽大学で民族楽器を学ぶ。2018年河榮守リサイタル <History>を開催、ソロアルバムをリリース。学生指導にも力を注いでいる。金剛山歌劇団での活動を経て、民族音楽研究所代表として民族音楽とジャンルを超えた音楽の世界を探究。
KYOTO Korea Art Academy 講師



安聖民 アン・ソンミン Ahn Sungmin
パンソリ唱者。大阪市生野区生まれ。1998年韓国に留学し、重要無形文化財第5号パンソリ「水宮歌」技能保有者・南海星に師事。2002年漢陽大学音楽大学院修士課程修了。2013年南原春香国楽大典・名唱部にて審査員特別賞。2016年履修者認定、「水宮歌」完唱公演（大阪/ソウル）。2019年「興甫歌」完唱公演（大阪）。
伴奏：趙倫子（チョ リュンジャ、鼓手）



金榮実 キム・ヨンシル Kim Yongsil
カヤグム演奏家。金剛山歌劇団を卒業後は楽器の道を一旦離れていたが、2022年より演奏家として活動を再開。楽器演奏、楽器指導、YouTubeでの演奏動画配信など様々な分野で活躍している。カヤグムの音色でたくさんの人を癒しているよう日々奮闘中。



解説：高正子 コオ・チョンジャ Koh Jeongja
大阪市生野区生まれの在日二世。大阪コリアタウン歴史資料館館長。韓国の伝統芸能である仮面劇が戦後韓国社会のなかで、いかに継承されてきたのかについて研究。また、在日コリアンの生活文化について研究する。映画「アリラン峠を越えていく——在日コリアンの音楽」(2018)を寺田吉孝とともに監修。



梁聖晞 リャン・ソンフィ Ryang Songhwi
ソヘグム演奏家。13才からソヘグムを始め、平壤音楽舞蹈大学通信学部を卒業。金剛山歌劇団入団後、〈2.16芸術賞〉コンクールにて民族弦楽器部門最高位受賞。2017年受賞記念ジョイントリサイタルを開催。ソロアルバム〈私の愛する花〉をリリース。現在はフリーの演奏家として活動中。

申込について

事前申込制（先着順）での開催となります。
代表者を含め2名まで申込可能です。

●受付期間
2024年7月22日(月) 10:00～8月21日(水) 16:00
※定員になり次第受付終了
※解説時に手話通訳が必要な方は、8月2日(金)までに申し込みたい、その旨をお知らせください。

○予約状況はイベント予約サイトでご確認ください。
○事前申込をされた方には、当日13:00から本館2階会場前にて展示観覧券を確認後、入場整理券を配布します。
○受付期間内に定員に満たない場合のみ当日参加を受け付けます。

申込方法

- イベント予約サイトからの申込
- イベント予約サイト
<https://entry-reservation-event.minpaku.ac.jp/>
- 電話での申込（次の必要事項をお知らせください。）
①イベント名 ②参加人数（代表者含め2名まで）③氏名（漢字、フリガナ）
④連絡先（固定電話 / 携帯電話 / メールアドレス いずれか）
※③、④は代表者のみ
- 【申込先】企画課博物館事業係イベント予約受付
Tel：06-6878-8210（10:00～16:00 土日祝および8/7、8/14を除く）



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

- 開館時間…………… 10:00～17:00（入館は16:30まで）
●休館日…………… 水曜日（水曜日が祝日の場合は直後の平日）
●観覧料…………… 一般 580円 / 大学生 250円 / 高校生以下 無料
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。
- 交通のご案内
●大阪モノレール…「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車徒歩約15分
●バス…………… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
●乗用車…………… 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。
同園内を無料で通行できます。
※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
企画課博物館事業係
Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242
<https://www.minpaku.ac.jp/>

